

## 和歌山県公共工事入札監視委員会第90回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和6年8月26日（月） 13:30～15:00 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	沖 本 易 子（委員長） 永 瀬 節 治（副委員長） 田 上 順 子 辻 原 治 柳 川 正 剛 岩 橋 靖 子	
審議対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年6月30日	
抽出案件	総件数 2 件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1 件	
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問 別紙のとおり	回 答 別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p><b>【条件付き一般競争入札】</b></p> <p>○旧職員研修所撤去他工事</p> <p>1. A委員 入札1回目と2回目で予定価格に約1000万円の差があるが、要因は何か。</p> <p>2回とも入札した業者の中で、入札額をかなり下げたところもあるが、そのあたりはどのように考えているか。</p> <p>2. B委員 入札額について、業者間の差や予定価格との差など、ばらつきが見受けられるが、何か考えられる理由はあるか。</p> <p>解体工事は積算しにくいとか、そういったことではないのか。</p> <p>解体の下請業者ということか。</p> <p>3. C委員 建築とは逆の工事だと思うが、解体工事の実績等を入札参加要件として求めている理由はない。</p>	<p>(発注機関：公共建築課)</p> <p>1. 当初の設計が前年11月の単価、2回目は本年2月の単価をそれぞれ適用しており、この単価が人員不足や資材の高騰などにより、かなり上がっていることが要因である。</p> <p>2月と3月は繁忙期で、手持ち工事の最後の仕上げ等もあるなかで、専門の技術者の不足などもあったのではないかと考えている。</p> <p>2. 工種が解体工事であり、下請も専門性を有する限られた業者になることから、取引業者の手持ち工事の状況や人員の確保の難しさなども影響しているのではないかとと思われる。</p> <p>公共建築の基準に基づいた単価を採用しており、参加業者もそれに基づけば積算がしにくいといったことはない。下請業者に見積等を取ったうえで、実際の利益がどのくらい出るのかというところで応札されるという話をよく聞くので、下請金額が人手不足等で高額であったのではないかと考えている。</p> <p>大きなウエイトを占めるのは解体業者の金額で、あとは杭業者や足場業者など。</p> <p>3. 解体工事は建築とセットであることが多く、通常どの業者も実績があることから、今回は入札参加要件として求めている。</p>

意見・質問	回 答
<p><b>【条件付き一般競争入札】</b></p> <p>○日高港海岸海岸整備（港湾）工事</p> <p>1. A委員 離岸堤の総延長が約200mとあるが、海岸でこの部分だけを施工する理由は。</p> <p>保全対象の住宅は何軒ぐらいか。</p> <p>2. B委員 入札参加可能者数が20者あって一者応札となっている。発注の段階で、どれぐらいの入札参加者があるかの予想はつくものなのか。</p> <p>3. C委員 施工箇所（箇所）の施工者は今回の落札者と同じか。</p> <p>4. C委員 消波ブロック等は別工事で製作済のものだと思うが、その製作は今回の工事で必要な分だけを行うのか、それとも他工事も含めた全体分を行っているのか。</p>	<p>（発注機関：日高振興局建設部）</p> <p>1. 海岸沿いの松林内に点在する住宅を保全対象として、離岸堤200mを施工していくこととしている。他の部分は松林などがあるので。</p> <p>10軒程度</p> <p>2. 民間工事も含めて施工中の工事がどれぐらいあるかなど、県では計り知れないところがある。結果として一者であったということ。</p> <p>3. 別会社</p> <p>4. ブロック製作ヤードに各種ブロックを別発注して作り置きしている。ストックがまとまってくれば、今回のような据付工事を発注し、製作ヤードに空きができれば別発注でブロックを製作するという流れで、製作と据付を分けて計画的に行っている。</p>
<p><b>【意見交換会】</b></p> <p>下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について</p> <p>2. 複数の入札参加可能ランクを設定する工事について</p>	